

そよかぜだより

2020
6月号

そよかぜ歯科医院のURL
<http://soyokaze-dc.com>



六月（水無月）

六月になり、関東地方も梅雨入りが発表されましたね。雨の日は、湿度が高く、じめじめとした暑さで過ごしにくいと感じる方も多いと思います。

これから、じわじわと気温が高くなっていくと、気を付けなくてはならないのが熱中症です。今、コロナ感染対策として、皆さんマスクを装着していますが、マスクをつけているとマスクによる加温で口の渇きを感じていくようになるため、熱中症に気が付くのが遅くなってしまったりです。こまめに水分補給を行い、熱中症に気を付けましょう。

夏期休暇のお知らせ

8月9日（日）・13日（木）・

14日（金）・15日（土）

休診とさせていただきます。

緊急の場合は、流山市休日
します。（9時～12時）
TEL 04-7155-3456



欠損補綴の種類について②

① 義歯による欠損補綴処置です。歯の欠損がある場合も残っている歯をあまり削りたくないとの希望の患者様に適応されることが多いです。型を採取し、作製します。作製後は接着剤を使わずに常に着脱できる装置です。一般に言われる入れ歯です。



② フリッジによる欠損補綴処置です。欠損部位の両サイドの数歯を切削し、平行性を保った上で型を採取し、その切削した歯に接着し、固定するため、着脱はできませんが入れ歯に比べて食べやすい利点がある装置です。



③ インプラントによる欠損補綴です。これは欠損部にチタン合金をはじめとする人工歯根を植え込んだ上に歯を作り、噛めるようにする装置です。歯を作る方法として冠、フリッジ、入れ歯などの装置を作製します。



これらの方法で①、②は保険診療が行えるケースがありますが、③に関しては保険診療は適応できません。

フェイスガード

先日、患者様よりフェイスガードをご提供いただきました。大切に使用させていただいております。今後も、しっかりと感染対策を行いながら、診療してまいります。



院長より

6月に入り、気温が上昇するとともに湿度が上昇してきました。今年は新型コロナウイルス感染予防のためマスクをほとんどの方が装着しているためにかなり息苦しいことが多いかと思えます。今後、さらに気温が上昇するため、熱中症の発症が懸念されます。

厚労省によれば、ソーシャルディスタンスが確保されれば、マスクを外してしっかりと呼吸してくださいと指導しております。また外出後は手洗いをしっかりと行い、うがい、食後の歯磨きは有効です。歯磨きはインフルエンザ、かぜなどのコロナウィルスの体内での繁殖、粘膜を破壊するプロテアーゼの生成を阻害するため、肺炎防止にもつながります。ただ、うがいをした後あたりに飛散させないように細心の注意をはらってください。

これから暑さ、高湿度により、睡眠不足、食欲不振による健康被害が多い季節です。お気を付けてください。